

第 2 2 回 神 奈 川 県 テ コ ン ド ー 選 手 権 大 会 要 項

平成 2 3 年 4 月 吉 日

日 本 テ コ ン ド ー 協 会

会 長 河 明 生

東日本大震災によりお亡くなりになられた皆様のご冥福をお祈りします。
震災により延期された神奈川県跆拳道大会を神奈川大学のご厚意により下記の通り実施します。

日本テコンドー協会門人のみなさん！

日本は「地震大国」であり、日本で生きる以上、日本人は自然の脅威と戦わなければなりません。
それは有史以来、日本人の先祖が克服してきたものであり、
その子孫である我々は勇気をもって後世のために自然の脅威に立ち向かわなければなりません。
日本人は父祖伝来の地・日本列島を去ることはできないのです。
いつどこを襲うかもわからない大地震に恐れおののき、不安にかれても、何の解決にもなりません。
「地震大国・日本」で生きる以上、自然の脅威に立ち向かわなければなりません。

我々は今こうして生きています。

被災を免れた日本人は、東日本大震災により多数の尊い命が犠牲になったことを語り継ぎ、
後世の教訓とし、将来、起きるであろう大震災に備えなければなりません。

現在、多くの日本人は

「日本のため、被災者のために何かしたい！」

という公共心に覚醒しています。

－被災者の尊い犠牲が、日本人の公共心を覚醒させた！

と言えます。それは

－日本の歴史に残る教訓

と位置づけなければなりません。

すべての犠牲者の名を日本の歴史・日本人の記憶に刻み込まなければ彼ら彼女らはうかばれません。

武道の前身である武術は、有史以来、危機存亡時における平常心を至上命題としてまいりました。

楽しむために発祥した 1 5 0 年程度の歴史しかない球技との決定的な差です。

みなさんが学んでいる日本跆拳道は武道です。

平常心を忘れてはなりません。「大震災ショック」を克服しなければなりません。

では具体的にどうすれば良いのでしょうか？ 日常生活に戻ることです。

被災地の県や市等の行政や業者の皆さんがお願いしているではありませんか。

「花見等を自粛しないで下さい。東北産の酒や食料等が売れないと経済的に立ちゆかなくなります」

現在もたくさんの被災者が、避難所での生活を余儀なくされ、雇用不安の渦中にいます。

被災を免れた日本人が「自粛自粛」、「中止中止」、「節約節約」では、日本経済が死んでしまいます。

そうすると被災地の復興は難しくなり、被災者の仕事がなくなり、失意の中、さらなる犠牲者が
増えることとなります。それで良いのでしょうか？

被災を免れた日本人は、平常心に戻り、誰でも簡単にできることから始めましょう。

毎年毎月恒例の「イベント経済」の波にのるべきです。

花見、母の日、子供の日、GW等々、可処分所得に応じた消費をしようではありませんか。

翻って日本テコンドー協会の門人も平常心に戻るべきです。

危機存亡の際の冷静な判断を可能とする平常心を

日々の日本跆拳道の鍛錬で涵養しているのですから難しいことはありません。

J T A 門人にとって平常心とは何でしょうか。

望んで始めた武道の毎年毎月恒例の試合・審査・セミナー等に粛々と参加することです。

震災前にエントリーした気迫を思い起こして下さい。まず己自身を奮い立たせて下さい。

周囲や家族が仮に不安に駆られていたとしても、毅然とした態度で周囲や家族を励まして下さい。

それが「強くなりたい」「自分を変えたい」「強くなって愛する人を守れるようになりたい」と

欲して日本跆拳道を始めた初志を貫徹することになるのです。

元気な姿で立ち向かう皆さんの姿を拝見することを楽しみにしております。

以上

注意 3月に申請書を提出した参加者は再提出する必要はありません。新規参加者のみ申請して下さい。

【1】名称

第22回神奈川県テコンド - 選手権大会

- 第22回全日本フルコンタクト・テコンド - 選手権大会 出場選手選考会 -
(開催日 2011年11月27日 日曜日 午後4時45分開始
会場 後楽園ホール・東京ドームシティー内)

【2】主催

神奈川県テコンド - 連盟 会長 河 明生
横浜市青葉区青葉台2 - 35 - 4 - 404 中村税理士事務所内
担当 事務局長 吉川 真 (090 - 1795 - 0375)

幹事

神奈川大学体育会テコンドー部

【3】後援

日本テコンド - 協会
神奈川県 最優秀選手・神奈川県知事賞授与
神奈川県教育委員会

【4】目的

- 1) ルールを尊ぶJTAテコンドーの試合を通じて神奈川県民等の健全な精神涵養及び体力増進に貢献する。
- 2) JTAテコンド - 愛好家の親睦を目的とする。
- 3) 信義と礼儀を重んじる日本テコンド - を通じた社会教育の意義を高める。
- 4) 第22回全日本フルコンタクト・テコンド - 選手権大会出場選手選考
一部組手各階級優勝者及び準優勝者で蹴美に秀でている選手には全日本大会出場権を与える。
ただし、<イ>各種空手やキックボクシングのような組手スタイルの選手が優勝した場合、
審議の末、上記の全日本大会出場権を与えない。
<ロ>関東圏選手は、重要な組手総見(10月・11月実施)への参加を義務付ける。
不参加の場合、例外なく、出場権を取り消す。

一部蹴武の型優勝者及び準優勝には全日本大会出場権を与える。3位は選抜出場推薦候補とする。

本大会より少年少女部型試合を実施し、少年少女部全日本型チャンピオンを決定する。
選抜選手は、中学生以下とし、予選会や少年少女部型試合入賞者の中から選抜する。

上記の全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会出場者は、
有段者または10月末迄に昇段審査を受験し合格している者に限る。

【5】開催日時

2011(平成23)年7月10日(日)11時00分 選手集合・計量10:15

【6】開催場所

神奈川大学横浜校体育館 神奈川県横浜市六角橋3 - 27 - 1
東急東横線「白楽駅」下車徒歩15分
注意 駐車場はありません。有料駐車場を利用して下さい。違法駐車を禁止します。

【7】参加資格

JTA有級者(黄帯・7級以上)、有段者。
健康であり、かつスポーツ安全保険に加入している者。

一部組手および型は、赤帯～有段者。制限無し。
ただし、J T A 黒帯道衣を着用しなければならない。貸与等は不可。
一部蹴武型は、赤帯～有段者。制限無し。
J T A 黒帯道衣を着用しなければならない。貸与等は不可。
二部組手は、茶帯～有段者。
または過去の各種大会で入賞経験を有する4級以上の有級者。
二部蹴武型は、有級者。制限なし。
三部組手は、黄帯～茶帯。制限なし。
少年少女部四部組手および型試合は、黄帯～黒帯。制限なし。

【 8 】 試合種目・表彰

1 一部フルコンタクト・テコンドー組手試合

最優秀選手1名、神奈川県知事賞授与、トロフィー
一部組手及び一部蹴武型の二種目で優勝（もしくは入賞）することが望ましい。

1) 無差別級組手

優 勝：メダル、賞状、蹴美に秀でている場合に限り第21回全日本F T大会出場権を与える
準優勝：メダルと賞状
三 位：メダルと賞状

2) 軽量級（63kg未満）組手

優 勝：メダル、賞状、蹴美に秀でている場合に限り第21回全日本F T大会出場権を与える
準優勝：メダルと賞状
三 位：メダルと賞状

2) 女性無差別級組手

優 勝：大メダル、賞状、蹴美に秀でている場合に限り第21回全日本F T大会出場権を与える
準優勝：大メダル、賞状
三 位：大メダルと賞状

2 二部J T Aライトコンタクトテコンドー組手

軽量級（63kg未満） ～ 優勝、準優勝、3位（1名）：メダルと賞状
中量級（70kg未満級） ～ 同上
重量級（70kg以上） ～ 同上
女性無差別級（胴防具着用） ～ 同上

3 三部J T Aライトコンタクトテコンドー組手

軽量級（60kg未満） ～ 優勝、準優勝、3位（1名）：メダルと賞状
中量級（70kg未満級） ～ 同上
重量級（70kg以上） ～ 同上
女性無差別級（胴防具着用） ～ 同上

4 四部J T A少年部特別ルール組手

少年少女部はテコンドー蹴士らしい組手スタイルを望みます。
J T Aが最も力を入れている後横蹴りや飛び後横蹴り、横蹴り、かかと落とし蹴等の限定された蹴り技で競わなければなりません。
フルコンタクト空手やキックボクシング等が得意な回し蹴りは、蹴美とは言えません。
万一の事故を防止するため回し蹴り（後回し蹴りや飛び回し蹴り蹴りも含む）は禁止します。
小学生の階級分けの体重は、申請時の参加希望選手の体重状況により、主催者が判断します。
ワンマッチでも実施しますが、参加選手4名以下の場合は、優勝者のみ表彰します。

少年少女部軽量級 ～ 優勝、準優勝：メダルと賞状

少年少女部中量級 ～ 同上

少年少女部無差別級 ~ 同上

中学生男子軽量級(50kg未満) ~ 同上

中学生男子無差別級(50kg以上) ~ 同上

* 体重差を考慮し、統合する場合があります。

女子中学生は一般の試合にエントリーして下さい。有段者でも二部または三部に参加できます。

二、 蹴武型試合(全種目男女混合)

1、 一部蹴武の型試合(中学生以上の有段者・茶帯)

優勝、準優勝者：メダルと賞状

2、 二部蹴武の型試合(有級者。中学生参加可)

3、 三部少年少女部(有級者・有段者)

小学生低学年(3年生以下。未就学者可) ~ 優勝、準優勝：メダルと賞状

小学生高学年(4年生~6年生) ~ 優勝、準優勝：メダルと賞状

中学生 ~ 優勝、準優勝：メダルと賞状

* 組手および型試合はいずれの階級もエントリー - 選手が

6名以下の場合、最も近い級と統合する。

7名以下の場合、3位は記録としては残すが表彰しない。

32名以上の場合、3位決定戦は行わない。3位は2名とする。

【9】試合ルール等

一、 組手試合ルール

1、 試合ルール

1部 新JTAフルコンタクトテコンドー・ルール(蹴美7WILLルール)

2部、3部 JTAライトコンタクトテコンドー・ルール

少年少女部特別ルール

JTAライトコンタクトテコンドー・ルール。

ただし、万一の事故(失明等)を防止のため、ヘッドギアと胴防具の着用を義務づけ
回し蹴り(後回し蹴りや飛び回し蹴り蹴りも含む)を禁止します。

2、 試合時間、判定基準等

1) 試合時間

1部本戦2分1R。

延長戦2分(2R迄)。再延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。

2部・3部本戦2分1R。

延長戦2分(1R迄)。延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。

4部少年部本戦1分1R。

延長戦1分(1R迄)。延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。

2) 敵点2、又は注意6で「失格」とする。

3) 実力差が著しい場合又は戦意喪失が認められる場合、主審権限により「棄権」を宣告する。

4) すべての試合は、判定の際、蹴美力の優劣を重視する。

3, その他

本大会は、全日本大フルコンタクトテコンドー選手権大会予選会のため、同大会のルールに準ずる。
ただし、予選会における蹴美審判は1名とする。

二、蹴武の型・試合ルール

選手は、蹴武の型を自由に選択し、試合を行う。

トーナメント勝ち残り方式とする。

男女混合、有段者・有級者混合とする。よって有段者と有級者とが対戦する場合もある。

3名の審判が、旗（青もしくは赤）を上げて勝者を決定する。旗が多く上がった方を勝者とする。

各審判は、引き分けを宣告できる。その場合、延長戦（1回のみ）を行う。

延長戦の場合、審判はいずれかを勝者と認定しなければならない。

選手は、延長戦の場合、蹴武の型を変更できる（同じ型でも可）。

延長戦での変更した型は、成功すれば、判定上、有利になる場合がある。

たとえば、A選手が型を変更し、B選手が同じ型で延長試合を戦ったと仮定する。

いずれも成功し、甲乙つけがたい場合、A選手が2つの型を修得したという事実は、それだけB選手よりも練習をしている（＝努力している）とみなせる。

また、延長戦での複数の型の実演は、失敗するリスクも高いので、それを克服して成功させたという精神性も評価できる。よって、この場合、審判は、A選手を勝者と判定する場合がある。

【10】大会出場申込

注意 3月に申請書を提出した参加者は再提出する必要はありません。新規参加者のみ申請して下さい。

2011（平成23）年6月20日迄（当日消印有効）、

参加費用 組手試合のみ ￥4000

蹴武の型試合のみ ￥4000

組手 & 蹴武の型試合 ￥6000

を下記郵便口座へ振込み、

振込みを証明する控え（コピー可）を参加申込書に添付し、下記まで郵送して下さい。

なお、個々人で申請した場合、1回戦から「同クラブ対決」となる場合があります。

1、参加費振込先

〔口座番号〕 00280 - 2 - 40267

〔名義〕 神奈川県テコンド - 連盟

2、申込書送付先

〒227 - 0062

横浜市青葉区青葉台2 - 35 - 4 - 404 中村税理士事務所内

神奈川県テコンド - 連盟 御中

【11】大会役員

大会会長 河 明生（県連会長） 他
実行委員長 吉川 真 審判部長 盛島一盛
審判 武田敬之、仮屋山敏志、吉川真、坂口好生、尾崎圭司、小川浩平、他
司会・佐藤裕樹、試合進行・西谷信一郎、他 医務救護・岩下徹

【12】注意事項

試合参加のためには、所属クラブ長の許可（申請書にサイン）が必要です。

電話やFAX、試合申込み期限を超えた試合の申込みは受け付けません。

所属支部長・責任者に試合参加の意志表示を伝えた場合、棄権しても参加費用は納めて下さい。

理由の如何を問わず一度納入された参加費は返却しません。

試合当日の参加費支払いは一切受け付けません。

各種保険証の現物を持参して下さい。

骨折などの事故がおきた場合、最寄りの救急病院に運び治療を受けることになりますので、各支部は病院に付き添う「救急担当者」を予め決めて下さい、

当該会場体育館・武道館では、「ゴミの持ち帰り運動」を実施しています。

各支部は「試合会場美化責任者」を決め、弁当やペットボトルなどのゴミを持ち帰ることを義務づけます。また体育館・武道館内は禁煙です。

ロッカールームや試合観覧席などでの盗難には十分注意してください。

武道館および大会主催者は一切責任を負いません。

【13】観覧

すべての観覧希望者を歓迎します（無料）。ただし、大会関係者の指示に従ってください。

ヤジなどの品位の欠ける観覧者は退場していただきます。

武道館の定める飲食禁止場所以外での飲食や喫煙、試合会場近隣での違法駐車は禁止します。

